



英知
誠実
健康

学校だより

若鷹

尾張旭市立旭中学校
平成25年度 1月号

「くれない族」から「する族」へ

始業式に曾野綾子さんが書いた「老いの才覚」を読んで感じたことを話しました。まだまだ中学生だから「老い」なんて自分たちには関係ないと考えていると思います。

しかし、この本の中で曾根さんは、どんな若い人でも「〇〇してくれない」と言い出した時が、その人の老化の始まりだと言っています。また、若くても「人への気配り、配慮」ができなくなったら、それは老人なんだとも言っています。そして「〇〇してくれない」と不平や不満を口にする人のことを「くれない族」と書いていました。この辺りの言葉では「〇〇してくれん」「〇〇してもらえん」になりますね。

「何もしてくれない」「〇〇をしてもらいたい」と不平不満を言う前に、「自分でどうにかできないか、まず自分でやってみる、まず自分で行動する」という気持ちを持ち、「何ができるかを考え、実行する」ことが大切なのではないでしょうか。最近は大人も子どもも当然のように、当たり前のように、「あるもの」「できること」に対しては鈍感で、「〇〇がない」「〇〇ができない」「〇〇してもらえない」「〇〇もしてくれない」など「ないもの」には敏感になっていませんか。

今年こそは、生徒全員が「くれない族」から、「する族」に転換し、「気づき・考え・実行する旭中生」になってほしいと願います。

旭中学校長 大竹良寿

♪うれしいお話♪

うれしいお話を聞きました。「親切にしている中学生を見かけ、感動して連絡しました」と旭中に電話がありました。道に迷って困っているお年寄りにやさしく丁寧に道案内をしている中学生の姿を見かけたということでした。翌日、生徒に確認すると、1年生の男子の8名がその場に居合わせたことが分かりました。学校以外の場所、特に、地域で、旭中生が役に立っているということは、たいへんうれしいお話でした。今後も、地域の一員として活躍できる旭中生を育てられるよう進めて行きたいと考えています。

尾張旭市教育フォーラム

2月6日(木)14時～市文化会館大ホールにて、2012年年間ベストセラ―総合2位となった「置かれた場所で咲きなさい」著者の渡辺和子先生(学校法人ノートルダム清心学園理事長)をお招きして開催されます。

当日受付もあります。是非お越しください。

また、文化会館2階では、教職員作品展も開催されています。



尾張旭市



青少年健全育成推進大会

1月25日(土)尾張旭市文化会館あさひのホールにて開催されました。本校からは、2名が表彰され、1名が意見発表を行いました。

- 青少年健全育成の標語

尾張旭市青少年健全育成推進会議賞 3年 加藤 圭悟さん
健全育成標語：「スマホより 僕と一緒に 会話して！」

- 善行青少年 3年 水野 なみきさん

- 「僕の意見 私の考え」 意見発表 2年 出口 真帆さん

※ 出口さんが発表した「いじめをなくすために」は後日、尾張旭市少年センターホームページに掲載されます。



寄付していただきました。

テント

<昭和61年度旭中学校卒業生 同窓会 様>



校旗「冠頭」

<旭中学校同窓会 様>



※ 大切に使用させていただきます。
ありがとうございました。

尾張旭市学校保健大会

2月19日(水)14時～市文化会館あさひのホールにて、尾張旭市学校保健大会が開催されます。健康づくり、保健活動に励んだ児童生徒の表彰と記念講演が予定されています。

記念講演では、梅田 陽子 先生〔(株)トータルフィット代表取締役〕をお招きして、「心と体の健康づくり」というテーマでお話をうかがいます。案内を配布しますので、是非お申し込みください。

★ 書き損じはがき集めています

集まった収益金は、PTA活動の活性化を図る資金に充てられます。

かぜ・胃腸風邪・インフルエンザがはやり始めています。ご家庭でも十分ご注意ください。